



## 「輝く和歌山」の時代へ！

明けましておめでとうございます。  
県民の皆さんには、健やかに希望に満ちた新春をお迎えのことと存ります。

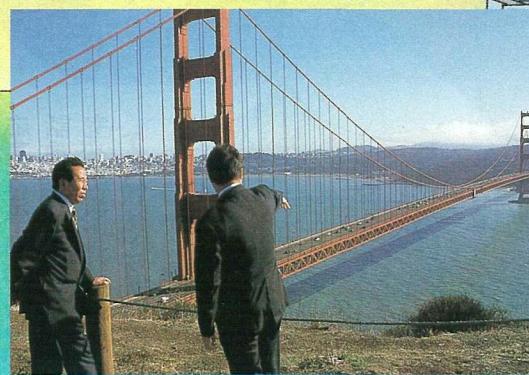
いよいよ二十一世紀まであと四年となりました。

私は、県民の皆さんと共に「二十一世紀に輝く和歌山」の時代を築いていきたいと願っています。

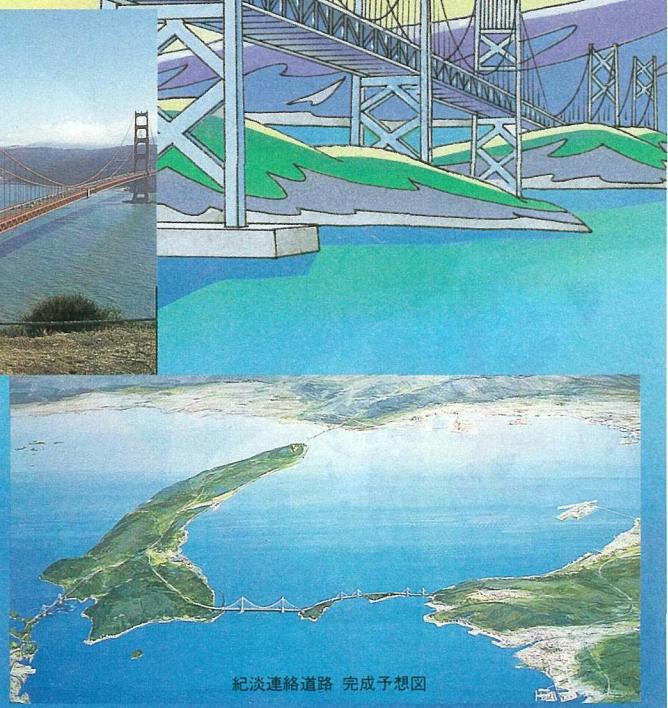
新年号の第一ページを飾った「紀淡海峡大橋」は、いよいよ夢から現実へ、私たちの大きな期待を橋渡してくれます。大プロジェクトとして、着実に進行しています。私たちは、この世界最長の吊り橋が国土軸としての役割を果たせるよう、また、和歌山県が架橋のインパクトを十分に活かせるよう、今から考えておかなければなりません。

七月二十日、日本有数の規模を誇る多目的ホール「和歌山ビッグホール」がオープンします。まずは、この大クジラを舞台に素晴らしい和歌山を演出し、「和歌山発で世界初」の情報を国内外に発信したいものです。

「輝く和歌山」の時代を皆さんと共に歩んでいきたいと思思います。



米国 ゴールデンゲートブリッジにて



紀淡連絡道路 完成予想図

年頭のごあいさつ

和歌山県議会議長

町田亘



新年あけましておめでとうございます。  
県民の皆様には、おすこやかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、南紀白浜空港のジェット化開港、湯浅御坊道路の開通、県立医大看護短期大学部の開校、和歌山リサーチラボ本社屋の竣工など、本県の将来に向けての基礎整備が進んでまいりました。

また、太平洋新国土軸の一翼を担う紀淡連絡道路等も実現に向けて着実に進展しております。県議会におきましても、県当局と力を合わせて、県政飛躍への基盤づくり、明るく活力ある社会と心豊かで快適な暮らしづくりを通じて、和歌山新時代の創造をめざし、諸施策の充実に全力で取り組んでまいる決意でございます。

## たくさんの応募 ありがとうございました



「紀」の字の草書体「れ」を図案化しました。  
創造する心や新しいものが誕生する期待と希望を象徴し、卵を擬人化しています。

広げた両手はこのホールから色々なものが生まれ育つて世界に羽ばたき、和歌山をアピールしてゆくさまを、遠くを望む目と笑顔とバラ色のほほは明るい未来を表現しています。

休館日)

県内外から6、051通の応募をいただきました。

### マスコットキャラクター決定 県デザインコンクール結果

県内外から653点の応募をいただきました。

- 最優秀賞 澤 美樹さん（福岡県筑後市）  
○ 優秀賞 中牟田 純子さん（福岡県福岡市）  
津村 良子さん（和歌山市）

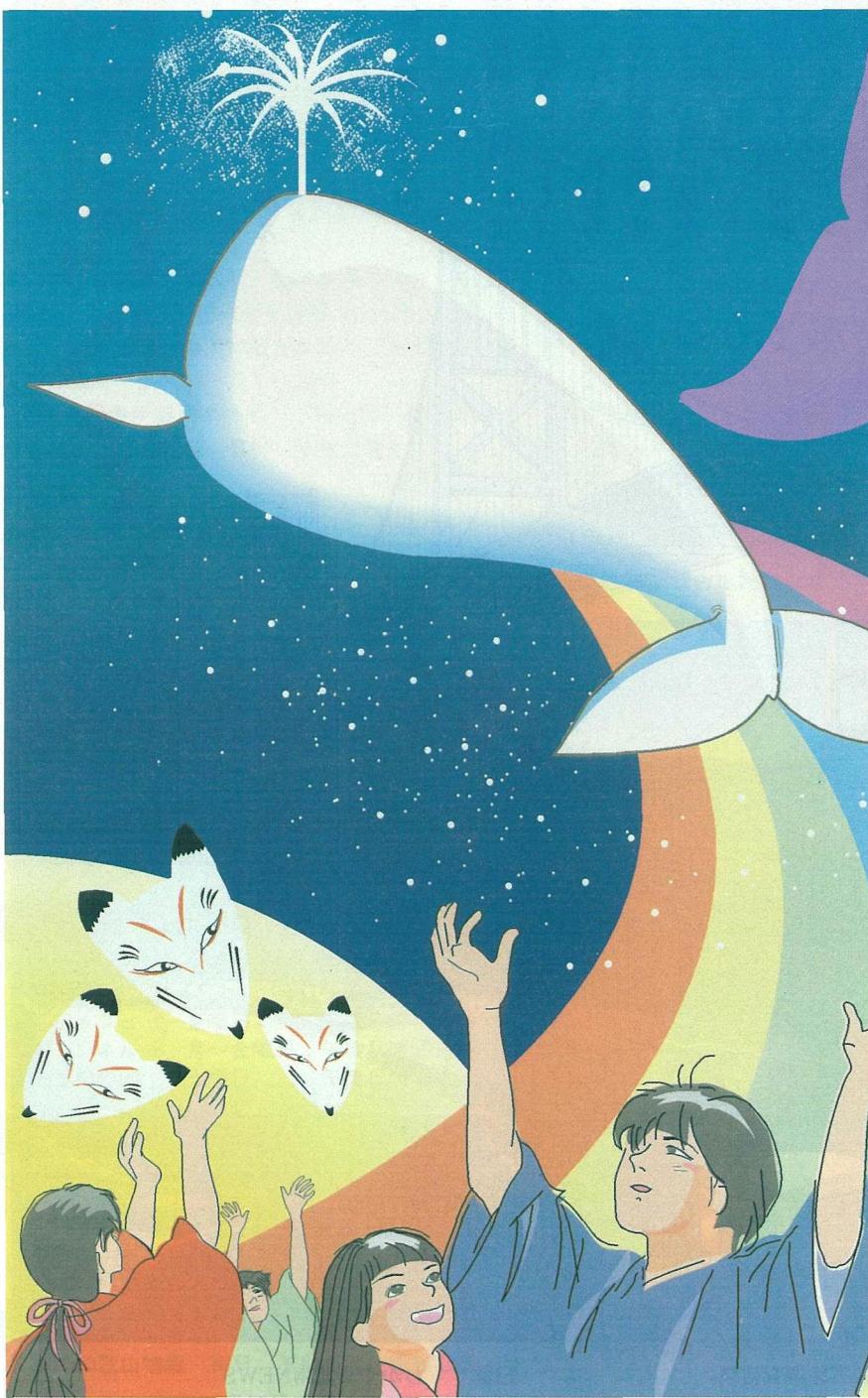
#### 〔審査結果〕

### 「和歌山ビッグホエール」

県内外から6、051通の応募をいただきました。



建設が進む「和歌山ビッグホエール」



## SPACE ODYSSEY

ひと語り和歌山  
《人と自然のハーモニー》

### にわか祝祭劇

## 銀色クジラの時間旅行



### 監修 姫川幸雄 出演者募集

7月20日に開催する和歌山ビッグホエールオープニング  
グイーンの出演者を募集します。  
みなさんお誘い合せのうえ応募してください。

#### 【ストーリー】

ホールの柿落としのお祭りが盛大に行われている。

そこへ、串本町の昔話「串本のキツネ」に登場する芝居好いの「平石ギツネ」が登場！

お祭りの参加者を操って、巨大な銀色のクジラの宇宙船に乗り、時空を超えて県内各地の民話や伝統芸能を題材としたにわか芝居を始めるが、果たしてその結果は？

（主演男優については、現在選考中であり、決まり次第発表します。）

**応募資格** 県内に在住又は勤務する方で、3月以降本番前までに、毎月2～3回程度（土曜日又は日曜日）に行なうレッスン及びリハーサルに出席できる方。（※団体やグループでの参加も可。）

**演技内容** 演劇経験を必要としない程度の簡単な演技

**募集人員** 500人程度

**選考方法** オーディションを行つて選考する予定です。

**結果発表** 選考結果について、応募者全員に直接通知します。

**応募方法** 往復ハガキに、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入のうえ、2月15日までに県庁複合施設整備室 出演者募集係へ

くわしくは県庁複合施設整備室へお問い合わせください。  
入選作については、1月8～20日、わかやま館2階展示場で公開展示します。（1月14日は休館日）



## アメリカに根付く 和歌山のこころ

かつて、和歌山県では海外移住が盛んで、明治以来約四万六千人の方々が海外に渡っています。現在では、二世や三世の時代に移りつつあります。互扶助や祖国との交流事業に取り組んでおられます。

このうち、米国の桑湾和歌山日系人会（サンフランシスコ）と南加和歌山県人会（ロサンゼルス）が、それぞれ創立百周年、八十五周年を迎えました。昨年十一月には記念総会が盛大に開催され、西口知事・町田県議会議長も出席し、お祝いの言葉を述べました。

また、南加和歌山県人会は、本年度の「和歌山県国際文化功労賞」を受賞し、その表彰式も併せて行われました。



# もし和歌山大震災が発生したら?

## —和歌山で近畿府県合同防災訓練—



地震による津波被害も想定し、大規模な避難訓練や、交通網途絶時の海・空からの応援・支援訓練が行われました。

主会場となつたコスモパーク加太では、倒壊ビルを想定したやぐらや倒壊家屋などが設置され、民間のバイク隊やヘリコプターによる情報収集、災害救助犬を使った生き埋め者救出のほか、医師や看護婦による応急手当の訓練など、最大規模の訓練が繰り広げられました。

阪神淡路大震災を教訓に昨年二月に近畿二府七県で締結した「震災時等の相互救援に関する協定」等に基づき、十一月二十九日に和歌山市加太を主会場に県内十三カ所で、県内はもとより各府県の関係機関が参加して「近畿府県合同防災訓練」が行われました。

訓練では、直下型地震による同時多発災害を、また昨年が南海道地震から五十年の節目の年であつたことから、海溝型

このほか、関西電力海南発電所会場、和歌山マリーナシティ会場、和歌山マリーナシティ沖、西浜会場、阪和自動車道紀ノ川SA会場、JR和歌山駅会場、都市計画街路西脇山口線、白浜会場、また、小・中学校及び社会福祉施設等で、各種災害を想定した訓練が、本番さながらの雰囲気の中、行われました。

今後これらの成果を活用して、近畿圏の広域防災体制のより一層の充実・強化に取り組みます。



# 和歌山県同和地区 実態調査結果の 概要

(平成6年11月1日実施)

県では、昭和63年に同和地区実態調査を実施してから約6年を経過しており、これまでの同和対策の効果を測定し、同和地区の実態等について把握することを目的として実施しました。主な調査項目について、その調査結果を掲載します。なお、14、308世帯について調査した結果、有効調査票が回収されたのは11、849世帯（回収率82・8%）でした。

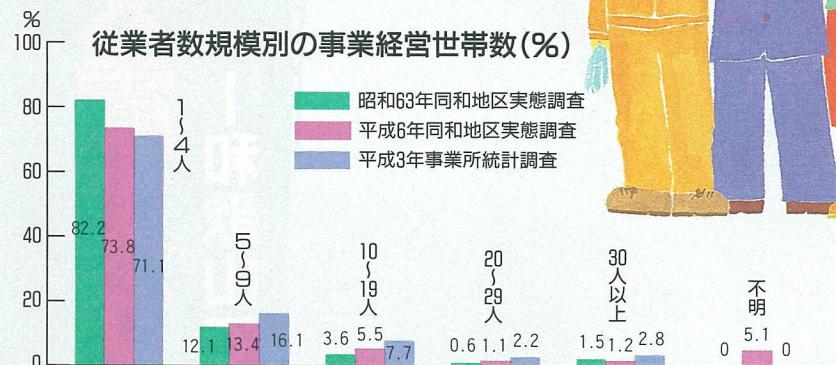
## 3. 事業の状況

事業経営の有無をみると、「経営有り」が16.3%となっており、事業経営世帯の従業者数（事業主を含む）の規模別では、「1～4人」規模の割合が73.8%と最も高く、次いで「5～9人」規模が13.4%となっています。

これを、「昭和63年同和地区実態調査」と比較してみると、「1～4人」規模が本調査の方が8.4ポイント低くなっています。

また、県全体（「平成3年事業所統計調査」）と比較してみると、「1～4人」規模が本調査が2.7ポイント高くなっています。

事業所の従業者数をみると、従業者の少ない事業所の比率は以前と比べて低くなっていますが、県全体と比べますと高くなっています。



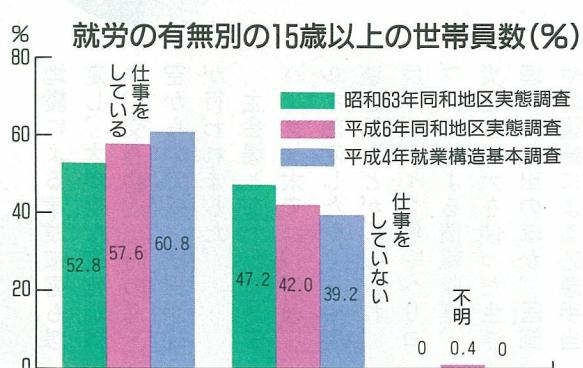
## 4. 就労の状況

15歳以上の世帯員のうち、有業率（仕事をしている人）は、57.6%となっています。

「昭和63年同和地区実態調査」と比較しますと、有業率は4.8ポイント高くなっています。

また、県全体（「平成4年就業構造基本調査」）と比較すると、有業率が3.2ポイント低くなっています。

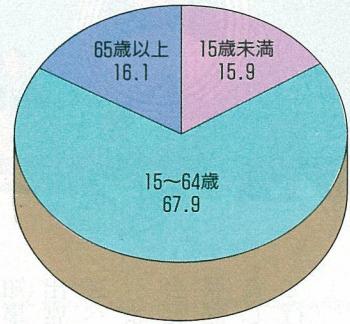
仕事をしている人の割合は以前と比べて高くなっていますが、県全体と比べますと低くなっています。



## 1. 世帯の構成

年齢構成をみると、15歳未満は15.9%、15～64歳は67.9%、65歳以上は16.1%となっています。

なお、一世帯あたりの平均世帯人口は2.95人となっています。



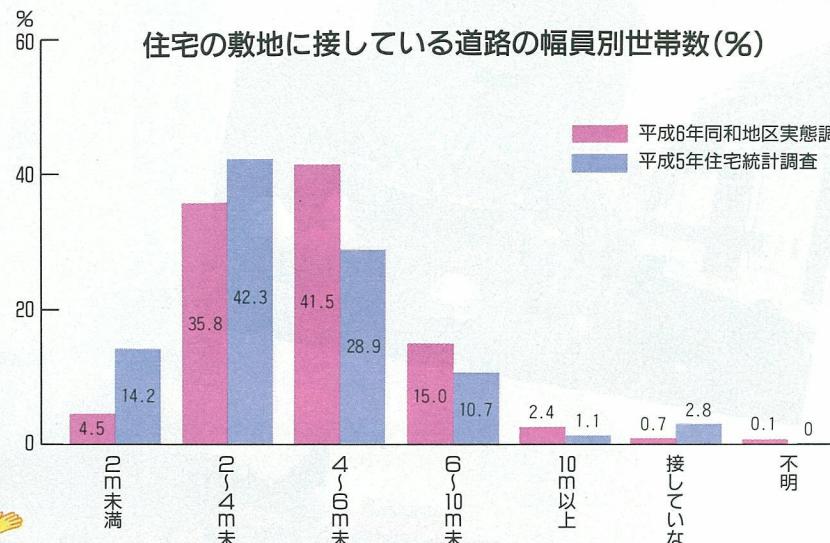
年齢階級別世帯員数(%)

## 2. 住環境の状況

### (1) 接道の状況

住宅の敷地に接している道路の幅員（接道）の状況をみると、「4～6m未満」が41.5%、「2～4m未満」が35.8%、「6～10m未満」が15.0%となっています。

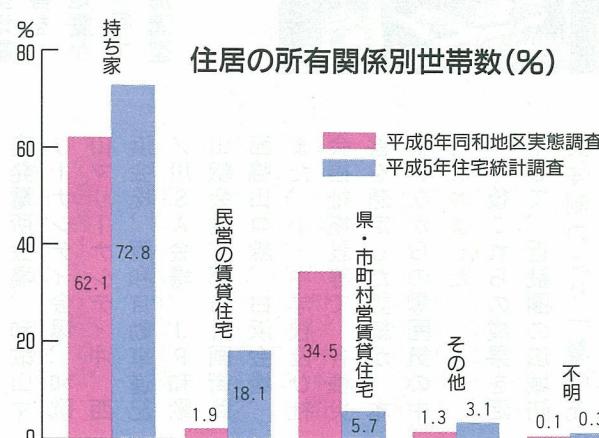
地区の環境改善を推進してきた結果、道路に接していない住宅はほとんどなくなっています。



### (2) 住宅の状況

住居をみると、「持ち家」が62.1%で最も多く、次いで「県・市町村営賃貸住宅」の34.5%となっています。

県全体（「平成5年住宅統計調査報告」）と比べて持ち家の比率が低く、公営の賃貸住宅の比率が高くなっています。



## 同和問題の解決に向けて

県では同和問題解決のため、特に、昭和44年「同和対策事業特別措置法」制定施行以来27年間同和対策を県政の主要な柱と位置づけ、その目的達成のため各般の対策を市町村と一体となって実施してきたところであります。

その結果、生活環境の改善をはじめとする物的な基盤整備が概ね完了するなど着実な成果をあげ、様々な面で存在していた較差は大きく改善され、解決へ向けて明るい展望が開かれてきています。

しかし、「同和地区実態調査」等の結果からみて、高等学校や大学への進学率にみられるような教育の問題、これと密接に関連する不安定就労の問題、産業面での問題など、較差がなお存在している分野が一部に見られます。

また、啓発活動を積極的に展開してきた結果、差別意識は着実に解消に向けて進んでいるものの、結婚問題をはじめとして差別事件が依然として発生している事実を厳しく受け止めなければなりません。

県としては、今後ともこれらの課題の早期解決のため、県民のみなさんのご理解とご協力のもと、積極的に同和対策を推進してまいります。



# ハロー喜の国 ふれあい人権フェスティバル

私たちの身の回りには同和問題をはじめ、障  
者問題、女性問題、在日外国人問題、子どもも  
いじめ問題など様々な人権問題が存在します

私たちの身の回りには同和問題をはじめ、障害者問題、女性問題、在日外国人問題、子どもとのいじめ問題など様々な人権問題があります。このような人権問題を多くのみなさんに自分自身の問題として考えていただくために、2月11日県民文化会館（和歌山市）で県と県同和委員会の共催により、ハロー“喜の国”ふれあい人権フェスティバルを開催します。

当団は、アグネス・チャンの基調講演をはじめ、「喜の国・人権文化の創造をめざして」をテーマにしたシンポジウム、人権啓発映画・アニメの上映、人権資料展、「カーレンジャー」のキャラクターショーやクイズ形式のスタンプラリー、梅干し・干物やふるさと産品などの物産展など盛りだくさんのイベントを企画しています。



©1996テレビ朝日・東映

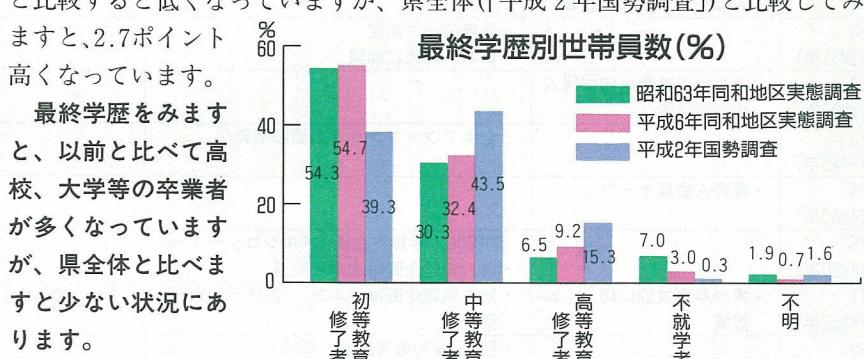
## 5. 就学の状況

- 初等教育修了者：小・中学校を卒業した人
  - 中等教育修了者：高等学校を卒業した人
  - 高等教育修了者：高等専門学校・短期大学・大学及び大学院を卒業した人
  - 不就学者：小・中学校を中退した人

最終学歴をみると、最も多かったのは初等教育修了者で54.7%、次いで中等教育修了者の32.4%となっています。

「昭和63年同和地区実態調査」と比較しますと、中等教育及び高等教育修了者が高くなっています。

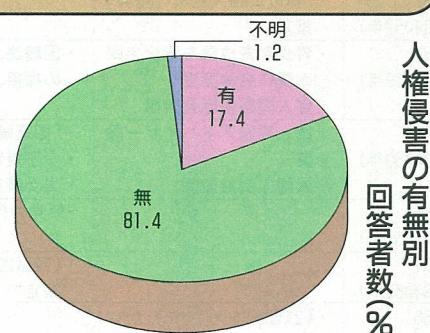
また、県全体（「平成2年国勢調査」）と比較してみると、本調査の方が初等教育修了者が多く、中等・高等教育修了者が少なくなっています。



## 6. 人権侵害の状況

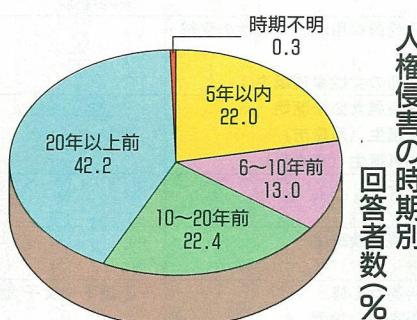
### (1) 人権侵害の有無

「今までに同和地区の人であるということで人権を侵害されたことがある」と答えた人は、面接調査回答者のうち17.4%（2,067人）となっています。



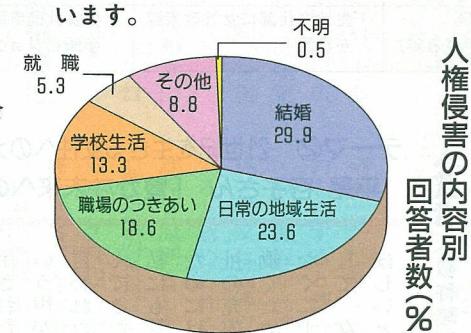
## (2) 人権侵害の時期

人権を侵害されたことがあると答えた人について、人権侵害の時期（一番印象に残っているものの時期）を尋ねましたところ、「20年以上前」と答えた人が42.2%と一番多くなっておりその後は時間の経過とともに比率は減少しつつありますが、それでもなお「5年以内」と答えた人が22.0%にのぼっています。



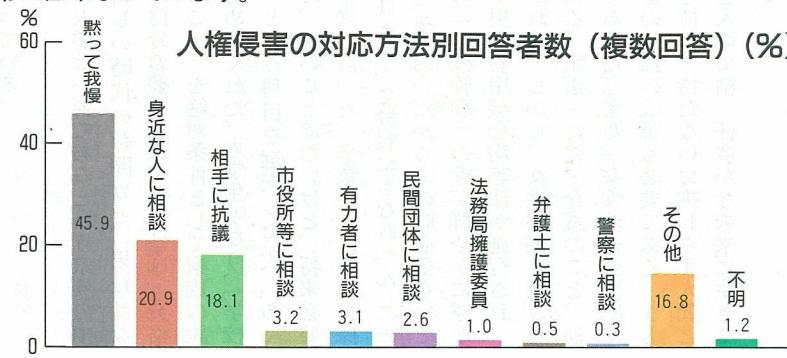
### (3) 人権侵害の内容

人権侵害の内容（どのような社会関係や場面で人権侵害を受けたか）をみると、「結婚」が一番高く29.9%、続いて「日常の地域生活」が23.6%となっています。



#### (4) 人権侵害に対する対応方法

(二) 人権侵害に対する対応方法  
人権を侵害された時の対応方法をみると、「黙って我慢した」が45.9%と一番高く、「市役所等に相談」「法務局又は人権擁護委員に相談した」の比率は非常に低くなっています。



## 女性が歩んだ半世紀

一戦後50年の世界、日本、和歌山の女性に関する出来事と時代背景

年号	和歌山県の動き	世界・日本の動き	一般情勢
1945 (昭和20年)	衆議院議員選挙法改正実現	・第2次世界大戦終了 ・国際連合誕生 ・衆議院議員選挙法改正に伴い婦人参政権実現	・戦争未亡人約25万人
1946 (昭和21年)	・初めての女性代議士誕生 (斎藤てい氏)	・戦後第1回総選挙、初の婦人参政権行使 (女性立候補者83人中39人が当選) ・日本国憲法公布、男女平等文化	
1947 (昭和22年)	・統一地方選挙で県下の町村議会議員に女性9人が当選	・民法改正（家父長制度廃止） ・教育基本法公布（男女教育機会均等） ・労働基準法公布（男女同一賃金）	・ベビーブーム、この年から約3年間毎年260～270万人誕生
1954 (昭和29年)	・各都市と各町村に婦人相談員と婦人相談嘱託員を設置 ・県庁と各地方事務所に婦人福祉司（8人）設置		・家電時代到来、洗濯機・冷蔵庫・テレビの3種の神器誕生
1956 (昭和31年)		・売春防止法制定 ・日本、国連に加盟	
1957 (昭和32年)	・海草地方事務所内に婦人相談所設置		
1970 (昭和45年)		・全米でウーマンリブの運動活発化	
1974 (昭和49年)	・県婦人会館オープン		
1975 (昭和50年)		・国際婦人年世界会議（メキシコシティ） ・婦人問題企画推進本部設置	
1977 (昭和52年)	・青少年育成課に婦人主幹設置	・婦人問題企画推進本部、「国内行動計画」策定	・「翔んでる女」が流行語に
1979 (昭和54年)		・「女子差別撤廃条約」採択	
1980 (昭和55年)		・「国連婦人の10年」中間年世界会議（コペンハーゲン）	
1982 (昭和57年)	・「和歌山婦人施策の指標」策定		
1984 (昭和59年)	・青少年育成課を青少年婦人課に名称変更 ・婦人問題懇話会設置	・国籍法、戸籍法改正（父母両系血統主義の採用、配偶者の帰化条件の男女同一化）	
1985 (昭和60年)	・婦人問題アドバイザー設置 ・県婦人会議設置	・「国連婦人の10年」世界会議（ナイロビ） ・女子差別撤廃条約批准 ・男女雇用機会均等法公布	
1986 (昭和61年)		・政党の代表に女性が就任（マドンナ旋風）	・セクハラ、ジャバユキさん表面化
1987 (昭和62年)		・「西暦2000年に向けての新国内行動計画」策定	
1988 (昭和63年)	・「21世紀をめざすわかやま女性プラン」策定		・DINKS（共働き夫婦）夫婦増加
1989 (平成元年)		・全ての国家公務員採用試験で女性の受験制限なくなる ・警視庁に全国初の女性警視誕生	
1991 (平成3年)	・県警、初めての婦人警察官採用	・中学校の家庭科男女必修開始 ・女性初の市長誕生（芦屋市） ・女性初の副知事誕生（東京都）	
1992 (平成4年)		・育児休業法施行	
1993 (平成5年)	・青少年婦人課を青少年女性課と名称変更	・女性初の衆議院議長誕生	
1994 (平成6年)		・高校の家庭科男女必修 ・男女共同参画審議会設置	・不況下で女子大生の就職難
1995 (平成7年)	・「わかやま女性プラン」を改定	・第4回世界女性会議（北京） ・育児休業法改正	
1996 (平成8年)	・生活文化部に女性政策課を設置	・男女共同参画審議会、首相に「男女共同参画ビジョン」を答申	

### テーマ② 21世紀を生きる女性へのメッセージ

平尾 容子さん 「豊かな未来への応援歌」



入賞者  
佳作  
優秀賞

入賞者  
(敬称略)

五味  
主基子、河内谷  
艶子、北東  
強、花田  
順子  
鷲見  
千賀子、志賀  
正和、田原  
サヨ子、仲野  
幸弘

テーマ① 私(母、祖母)の戦後  
石井 和子さん 「はだしの参政権」



敗戦の日、十三歳の私は学童疎開で四国の山中に居た。学徒動員では、紙の気球爆弾作りに励んだが「女なんぞ人間の内には入らない」と軍人は言った。爆風で無残に死んでいった学友や、多くの貴い命を犠牲にして、昭和二十年、戦争は終わった。  
戦後まもなく、焼け残った小学校を借りて始まった学校まで、炎天の道十五キロを私ははだしで通った。翌年女性の参政権は大変な朗報としてマスコミに登場した。参政権もいけど靴がほしいと嘆く私に姉は言った。「はだしで歩いて苦労して貰つた参政権と思っておこうよ。」「はだしの参政権?」「はだしの原点で人を見分け、良い政治家を選ぼうよ。良い時代が来るよ。」女性の平等への自覚と政治参加は、戦前の心ある女性達が官憲に迫害されながら命をかけて努力してきたものであり、女性達の長い苦しい歴史を経て、ようやく得られた参政権である。参政権を当然のこととして考えている若い世代も、こうした歴史を認識して、より良き未来を開くためにも棄権というもつたないことは避けてほしいし、政治を変えるのは私たち女性であるといふ概要と実践を切に願っている。

小学生から80歳代の方まで、計99点のご応募をいただきました。各テーマごとの最優秀作二編と、他の入賞者をご紹介します。

### 最優秀作品の概略

## 作文入賞者の決定について

# あれから50年、もっといきいき輝いて

## ～女性参政権行使50周年記念～

昭和21年4月10日、戦後第一回目の総選挙で日本の女性が初めて参政権を行使。

そして50年が経過し、女性をとりまく環境も女性の意識も大きく変わりました。

戦後の女性の歴史を振り返るとともに新たな男女共生の時代への契機として、記念イベントや展示など「参政権行使50周年」記念事業を実施します。



太田一夫氏と和歌山女声合唱団

●記念イベント  
太田一夫氏と和歌山女声合唱団のレクチャーコンサート「歌でつなぐ戦後50年」、そして末成由美や紅萬子ほかの新喜劇「なんでやねん」を催します。

日時 2月1日午後1時30分

場所 県民文化会館（和歌山市）

入場料 無料（整理券必要）

定員 400人（先着順）

申込 県庁女性政策課又は各県事務所民生課で整理券をお渡しします。郵送をご希望の方は80

円切手を同封し、住所、氏名、電話番号を記入のうえ1月24日までに県庁女性政策課へお申し

込みください。

※当日、一時保育（2歳）就学

までに県庁女性政策課へお申し

事務所民生課で整理券をお渡し

します。郵送をご希望の方は80

円切手を同封し、住所、氏名、

電話番号を記入のうえ1月24日

までに県庁女性政策課へお申し

込みください。

申込 県庁女性政策課又は各県事務所民生課で整理券をお渡しします。郵送をご希望の方は80

円切手を同封し、住所、氏名、

電話番号を記入のうえ1月24



**陶芸でふるさとづくり**

中辺路町栗栖川に焼き物実習施設「陶芸館」が1月中にオープンします。

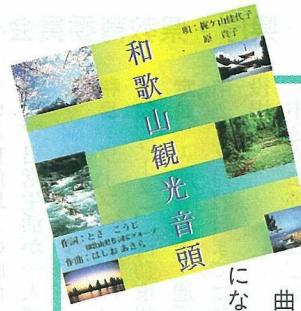
陶芸館は、1階に、電動ろくろや電気窯、ガス窯のある制作室とアトリエなどがあり、2階には、展示コーナーがあります。

玄関前には全長10メートルの穴窯があり、本格的な陶芸が楽しめます。

また、宿泊施設も完備されており、家族・グループでご利用になれます。

オープン後は、町内産粘土を利用した陶芸教室、種々のギャラリー展、野外展などが開催されます。

ぜひ一度、陶芸に親しんでみてください。  
くわしくは中辺路町役場産業課☎(0739)64-0500へお問い合わせください。(中辺路町)



(社)県観光連盟では、県内50市町村の観光PRを盛り込み、「和歌山観光音頭」のCDの販売を始めました。歌詞は1番の和歌山市から17番の下津町までの「紀北編」、18番の有田市から34番の南部川村までの「紀中編」、35番の田辺市から50番の北山村までの「紀南編」に分かれています。「まとめ」の51番は、西口勇知事が作詞しています。曲はアップテンポ調で、親しみやすいものになっています。

くわしくは県庁観光課内(社)県観光連盟☎(0734)22-4631へお問い合わせください。

## 日本一長い音頭登場!

### 白浜一広島便開設へ

#### 東京便・福岡便に続く第三ルート

南紀白浜空港と広島西飛行場を結ぶコミュータ便が1月下旬に開設します。

そのための試乗会が、昨年11月30日、観光・空港関係者を対象に実施されました。

同便は、約1時間の運航時間で、一日一往復する予定です。

(白浜町)

運航時刻(予定)  
広島西発11:45→南紀白浜着12:45  
南紀白浜発13:05→広島西着14:05



「歴史の道百選」は、文化庁が歴史的遺産の保護を目的に新設したもので、このたび、第一次分として全国七十八カ所を選出し、発表しました。

県内からは二カ所が選出されました。

熊野古道の名で親しまれてきた「熊野参詣道」の今回の選定地域は、和歌山市から田辺市に至る「紀伊路」と、田辺市から山間部の中辺路町などを経て新宮市に至る「中辺路」の二つの街道です。

一方、「高野山町石道」は九度山町の慈尊院から高野町の奥之院を結ぶ約二十五キロメートルの参詣道で、道順と距離を示すため、二百本余りの卒塔婆が一町ごとに建てられており、国の重要文化財にも指定されています。

**熊野参詣道と高野山町石道が**

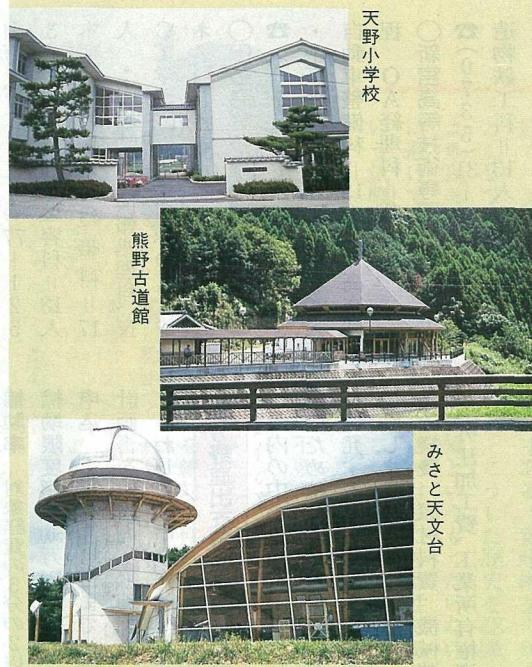


### 県ふるさと建築景観賞

景観に十分配慮した優れた建築物、まちなみを表彰する「ふるさと建築景観賞」を設けています。

昭和60年度に始まり、今年度で12回を迎えたこの賞を本年度受賞したのは、かつらぎ町の天野小学校の校舎、和歌山市の延命院の瓦白塀、和歌山市の中野幸生さん邸、美里町のみさと天文台、中辺路町の熊野古道館の5点です。

いずれも、自然や周囲の景観と調和のとれた優れた建築物ばかり。そこに住む人々や、道行く人々の心にうるおいを与えてくれます。



### 催し

県民文化会館☎(0734)36-1331

レニングラード国立バレエ「眠りの森の美女」

○ 1月31日午後6時～ 大ホール  
S席10,000円 A席8,000円 B席6,000円  
C席4,000円

県植物公園緑花センター☎(0736)62-4029

園芸教室「洋ランの育て方と花付きをよくするポイント」 1月19日午後1時～  
洋ラン展 2月8～11日

### お気軽によどぞ

#### 交通事故相談

[常設相談] 月～金曜日 (東牟婁県事務所は水曜日を除く)

場所 県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所

[弁護士による相談] ●県庁交通事故相談所 毎月第1、3月曜日 ●東牟婁県事務所 每月第1、3月曜日 受付 午後1～3時

[巡回相談] ●伊都県事務所 1月22日 ●西牟婁県事務所 2月12日 受付 午後3時まで

#### 県民相談

[常設相談] 月～金曜日

場所 県庁県民相談室、各県事務所

[弁護士による法律相談] 毎月第2、4金曜日 受付 午前9～11時 場所 県庁県民相談室

[移動相談] ●伊都総合庁舎 1月17日 ●打田町古和田会館 2月7日 受付 午後1～3時

\*くわしくは☎(0734)41-2359 (交通事故相談)、41-2356 (県民相談) ～

### 電波で結ぶあなたと県政

#### テレビ テレビ和歌山

きのくに'97 日曜日 午前10時～  
(再)午後10時30分～  
県政フラッシュ 金曜日 午後6時15分～  
県民チャンネル 月～金曜日 午後8時55分～  
はばたく紀の国 土曜日 午後6時～

#### ラジオ 和歌山放送

県民マイク 土曜日 午後2時30分～  
県庁だより 毎日 午前11時40分～  
(再)午後6時～  
定期便教育の窓 第2・4土曜日 午後2時15分～

#### 文字放送 テレモ西日本511#

紀の国・和歌山情報 每日 午前6時～深夜0時